



くずまきワインで乾杯する参加者とワイン娘の衣装でイベントを楽しむ子どもたち

### 岩手くずまきワインで収穫祭 誰もが実りの秋を満喫

株式会社岩手くずまきワインが主催する第18回森林の収穫祭が10月4日から2日間開催され、町内外からの来場者でにぎわいました。

会場には新酒ワインや山ブドウの一番搾りジュースをはじめ約20種類のワインが用意され、来場者は芳醇な香りに包まれながら、グラスを片手に会話を弾ませていました。キッズコーナーには松ぼっくりを使った作品を作るワークショップもあり、子どもから大人まで、実りの秋を堪能していました。



平和への思いを込めて献花する参列者たち

### 町戦没者追悼式を挙行 次世代へつなぐ平和の祈り

令和7年度町戦没者追悼式は9月30日、まき×まきホールで行われ、戦没者の遺族など約90人が参列しました。

町遺族会の鷲塚勝治会長は「戦後生まれの世代が増える中、遺族会が先頭に立って平和を訴えていくことが大事。この思いを継承してつないでいきたい」と追悼の言葉を述べました。参列者たちは、故人へ思いをはせながら、恒久平和への祈りを込めて菊の花を手向け、会場は静かな祈りに包まれました。

### （株）加藤文明社が葛巻にオフィスを開所 山村地域との連携に期待

10月7日、総合印刷業を展開する株式会社加藤文明社（東京都・加藤文男代表取締役社長）の葛巻サテライトオフィス開所式が同所で行われ、関係者約20人が出席しました。

加藤社長は「長い付き合いのある葛巻町に安定的な雇用を生み出し、地域に根差した産業となるよう全力を挙げる」とあいさつ。鈴木重男町長は「葛巻での取り組みが山村地域との連携において確かなものとなるよう、町一丸となって盛り上げていきたい」と期待を寄せました。



開所式に出席した関係者の皆さんと会社についてや町での業務内容を説明する加藤社長（円内）

### いわて子どもの森がやってきた 小屋瀬保育園で親子WS

10月1日、いわて子どもの森が主催する移動児童館が小屋瀬保育園で行われ、園児5人とその保護者が参加しました。始めに園児たちは絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせを鑑賞。その後は園児たちがアオムシになりきり、親子仲良く園内に用意されたさまざまなアトラクションに体全体を使って挑戦しました。

参加した保護者らは「子どもたちが思い切り遊んでいる姿が見られてうれしい」とほほ笑みました。



アオムシになりきってアトラクションの葉をくぐる園児たち



互いの活動の情報を共有し合う参加者たち

### 町婦人会が一戸町婦人会と交流 情報交換で活動に活気を

10月7日、町婦人連絡協議会（山形茂子会長）は一戸町地域婦人団体協議会との交流研修会を行い、総勢35人が親交を広げました。

研修会では互いの活動を報告。参加者は領きながらメモを取り、興味深く耳を傾けていました。また、独自の活動については質問を交わし、互いの経験を共有し合うなど、さらなる活動の原動力になった様子でした。山形会長は「両町にとって有意義な研修だった。今後の活動につなげていきたい」と充実した表情を浮かべました。



鈴木町長から交付金を受け取り笑顔を見せる鳩岡さん

### あらゆる制度で生活を支援 安心・豊かな暮らしを実現

定住奨励金、新婚ライフサポート金およびウェディング祝い金交付式は10月3日、くずま〜で行われ、鈴木重男町長から4組に祝金が手渡されました。

定住奨励金を交付された鳩岡航さん（江川）は「15年ぶりに帰ってきた葛巻町に仕事で貢献していきたい」と自身の抱負を語り、ウェディング祝い金の交付を受けた石崎明さん・日菜さん夫婦（新町）は「多様な支援制度にはとても助かっている」と町の魅力について話しました。